

週報

こひつじ

第40巻 22号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

投壘通信

その二 過去を精算する

天地が創造されたとき、一つの跡、そんな光景が五、六度も私の過程が終わると、夕があり、朝が眼前にくりひろげられるとは！あったと書かれています。

神の働きにはリズムがあります。だか欲張りすぎているような感じ始まりがあり、終わりが来る。一がしてならないのだ」

日も朝に始まり、夕に終わる。私も、あまり欲張ってはいけな人生も同じです。始まったもの年齢にきているのだと思います。は必ず終わりを迎えます。

『ヘンリ・ライクロフトの私記』心は中・高生たちでしたが、今ではその多くが還暦を迎え、七〇歳のなかで、

「あといくたび春を迎えられることであろうか。…せめてあと五、六度は」

と述べたあと、著者ギツシングは、こう言うのです。

「大地が再び春の装いをつける奇

ヒルテイの助言はこうです。「老年期の始まる頃のある日、人は過去と結末をつけなければならぬ」

過去を精算し、過去に終わりを告げよ、と彼は言うのです。

過去に対して怒りがあるなら、それは捨てなければならぬ。後悔があるならそれも捨てなければならぬ。過去の帳簿を捨て、もはやそれを二度と開いてはならないのだと。

何年前か前、一年の最後の礼拝説教を考えていたとき、ふと思いついた。あの有名なキリスト者内村鑑三は、一年を振り返ってどんなことを考えていたのだろうか。そこで彼の日記から大晦日の記事だけを拾って読んだことがあります。

これは一九二一年、彼の六〇歳のとき。

「諸勘定はすべて終わった。愛のほか、何びとも何物をも負うことなくして年を終わることができて感謝である」

それから六年後。

「ここに昭和二年、一九二七年を送る。身体も歳のわりあいに健康である。諸勘定もことごとく払い得て、一銭も負うところはない」

一年の最後に彼がその都度やっているのは、負債のない生活の確認です。

彼は、金銭に限らず、人間関係もきちんと整理して、一年を終わるように心がけていたのではないのでしょうか。

このように老年期にさしかかったとき、なすべき第一のことは過去の精算です。そして、いったん精算をしたなら、その帳簿は二度と開いてはならないのです。

聖書にも人生の精算をした人が登場します。

第一はヨブ。彼は言いました。「私は裸で母の胎から出て来た。また、裸で私はかしこに帰ろう。主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな」(ヨブ記 一の一)

次はソロモン。

「母の胎から出て来たときのよう

に、また裸でもとの所に帰る。彼は、自分の労苦によって得たものを、何一つ手に携えて行くことが

できない。(伝道者の書 五の一五) 司会は岩崎宏志さん、奏楽は屋

す。そしてもうひとりパウロです。宜浩子さん、証と讚美はベイヤー
「私たちは何一つこの世に持って 説教は英語で、日本語の通訳が
来なかったし、また何一つ持って 説教は、心になつた人と言わ
出ることでもできません。衣食があれ づきます。したがって、説教時間
れば、それで満足すべきです。(第 自然と堅実な労働であった。その が長くなりますので、その日の礼
一テモテ六の七、八) 消息を詩篇八篇に読むことができ 拝は一回だけ一〇時から行ないま
以上はみな、人が自分の人生を ると語りました。 す。第二礼拝はありません。これ
精算したときの言葉です。彼らの まで第二礼拝にこられていた方は、 まで第二礼拝にこられていた方は、
観察によれば、精算の結果は、驚 まちがいのないように一〇時にお 活となりました。テーブルの上は、
いたことに金持ちも貧乏人もみな いでください。 いつも六人分の食器が並び、
同じです。人はだれも、人生を終 モーレンキャンプさんの孫ジャス 英語と日本語の飛び交うにぎやか
わるとき、何一つ持つてはゆけな タスさんと妻のサニーさんもいっ な食事が続きました。最初は、忙
いのです。自分がだれか、どんな しょです。 しい日々慣れるだろうかと心配
人間であるかということ以外は。 米村牧師は、若い頃、モーレ でしたが、あつというまに二週間
だから精算したら、未練がまし ンキャンプさんのもので訓練を受けま につききました。もとの静かな生活
く、過去を振り返るなど警告され した。 にもどり、今では、妻も私もさび
ているのではないのでしょうか。(続) モーレンキャンプさんは現在八七 しい思いをしています。
二、三ヶ月、日本中を車で旅行さ ながら、それでも毎週の日曜日は、 ほとりの孫娘(一七歳と一四歳)
れるそうです。安全で、楽しい、 近隣の教会の礼拝で説教を続けて は、今度は、祖父母である私たち
そして思い出に残る旅行であるよ いるそうです。少し足が不自由で としっかり会話をするのだと意気
うにとみんなで祈りました。 すが、他は元気です。 込んでやってきたそうです。
第二礼拝は午前一〇時から、 日本語はともじょうずですの そこで毎日、夕食後、私はふた
り日本語を教えることになり、
○教会学校は午前一〇時から、 だ、ぜひ声をおかけください。 おかげでずいぶん友だちになりま
○説教は米村牧師 礼拝後、軽食のときがあります。 した。
先週の出席

先週の出席

○第一礼拝が五二名、第二が五

○名、合計一〇二名(男三四、女

六八)。それに子どもが六名、合

わせて一〇八名でした。

○退職後、東京から六年半前に

熊本に引越し、それ以来、大津

を天に送り、今はひとりで暮らし

ます。自由にご参加ください。

牧師身辺

これまで妻とふたりだけの毎日
でしたが、娘家族がアメリカから
やってきて、突然、六人の共同生
活となりました。テーブルの上は、
いつも六人分の食器が並び、
英語と日本語の飛び交うにぎやか
な食事が続きました。最初は、忙
しい日々慣れるだろうかと心配
でしたが、あつというまに二週間
につききました。もとの静かな生活
にもどり、今では、妻も私もさび
しい思いをしています。
ほとりの孫娘(一七歳と一四歳)
は、今度は、祖父母である私たち
としっかり会話をするのだと意気
込んでやってきたそうです。
そこで毎日、夕食後、私はふた
り日本語を教えることになり、
おかげでずいぶん友だちになりま
した。

今日の礼拝

○第一礼拝は午前一〇時から、

第二礼拝は午前一一時から。

○教会学校は午前一〇時から。

○説教は米村牧師

先週の礼拝

六月三〇日はオランダからモー
レンキャンプさんを招いての礼拝で
質疑応答のときをもちたいと思

六月三〇日の礼拝は、
第一礼拝のみです。

そのあとお残りくださった方が
たとモーレンキャンプさんを囲んで
質疑応答のときをもちたいと思

米村牧師のメールアドレス。
yonemura@ja2.so-net.ne.jp